

令和3年度地域協議会委員 視察研修を行いました

令和3年10月21日に、委員視察研修を行いました。

この研修は、地域協議会委員が地域の課題や地域の活性化などについて、より充実した話し合いを行うため、必要な知識や情報を得たり委員の共通認識を深めたりすることが目的です。

今年度は、頸城区の市民活動による観光の取組についてをテーマとし、大池いこいの森ではNPO法人頸城区観光協会から、地域協議会の自主的審議を契機に会が設立されたことやキャンプ場の運営についての説明を受けました。また、くびき野レールパークでは、体験乗車のほか、NPO法人くびきのお宝のこす会から、地域活動支援事業を活用したくびき野レールパークの整備や会の活動について説明を受け、活発な質疑が行われるなど有意義な研修となりました。



大池いこいの森ビジターセンター



くびき野レールパーク

地域協議会の「自主的審議」とは・・・

各区に設置する地域協議会は、『自主自立のまちづくり』を推進するため、住民の皆さんが生活の中で改善が必要と感じている課題について、どうしたら解決するのか等、自主的に話し合います。これが「自主的審議」です。

地域協議会は、市長が地域の声を聴くために設置した機関であり、市長はその意見を尊重することを基本としています。ただし、意見の内容や市の財政状況などから、市政に反映できない場合もあります。地域協議会で話し合った意見で、意見書や諮問に対する答申として市長に提出された案件については、おおむね1ヶ月後に地域協議会に市の考え方や対応方針等を文書で回答します。板倉区地域協議会では、地域の課題を把握するため、今年度は区内で活動する各種団体と意見交換を行っています。



民生委員児童委員の活動ややすらぎ荘について、関係団体と意見交換を行いました

板倉区地域協議会委員は全体で会議を行うだけでなく、3つの部会（健康福祉部会、産業建設部会、地域振興部会）に分かれて活動しています。

9月28日には、健康福祉部会が民生委員児童委員協議会の会長副会長と意見交換を行い、民生委員や児童委員の活動を行う中での様々な課題等について理解を深めました。

また、10月28日には、産業建設部会が黒倉ふるさと振興(株)代表取締役と意見交換を行い、やすらぎ荘の運営の課題等について話し合いました。

今後も板倉区内の各種団体との意見交換会を適宜開催し、住民の皆さんと話し合いを進める中で、地域の課題について把握し、地域協議会としてどのようなテーマで課題解決に取り組んでいくのか検討していきます。

やすらぎ荘とあしんの里記念館における市及び指定管理者の収支状況等について報告を受けました

10月12日の第7回板倉区地域協議会において、市施設経営管理室からやすらぎ荘とあしんの里記念館における市及び指定管理者の収支状況等について報告を受けました。また行政改革推進課からは、「やすらぎ荘については、地域住民の皆さんと意見交換を行いながら、利用動向や施設の老朽化の状況、施設の収支の状況、地域が施設と一体となってどのような利活用を行っているかを踏まえ、施設の今後の方向性について決めていきたい」と説明がありました。



会議録は、市のホームページでご覧いただくことができます。

地域協議会を傍聴してみませんか？



会議の様子

地域協議会は、どなたでも傍聴していただける会議です。「地域協議会って何やってるの?」、「会議って難しそう…」とお考えの方は、是非一度足をお運びください。地域の皆さんが少しでも板倉区の現状や課題について考えていただくきっかけづくりとなれば幸いです。

《地域協議会の動き》

◇令和3年度(9月下旬以降)

- ▼9月28日 健康福祉部会(民生委員児童委員協議会との意見交換会)
- ▼10月12日 第7回地域協議会(板倉保養センターの経営状況について他)
- ▼10月21日 視察研修(頸城区)
- ▼10月26日 健康福祉部会(意見交換会の振り返り)
- ▼10月28日 産業建設部会(やすらぎ荘との意見交換会)
- ▼11月9日 第8回地域協議会(自主的審議について)
- ▼11月24日 地域協議会だより編集委員会
- ▼12月10日 地域協議会4区合同研修(はーとぴあ中郷)

コロナ

「コロナ禍」に振り回され続け、2年、懸念された「東京オリ・パラ」も何とか無事に終え、ワクチン接種によりコロナも県内は少数の感染者でようやく落ち着いている。また昨年の大雪からまもなく一年。一昨年並みとは言わないが、せめて少雪を願いたい。板倉区として新年に期待しつつ穏やかにスタートしたいものだ。

(編集委員長 田中睦夫)